

「動いた地域に、関係は育っていく。」

— ボランティアを受け入れた3地区の"実践"と、その"続き" —

福島県の農村を舞台に実施してきた「いなかといいなか」ボランティアマッチング事業。

今年度は、地域自らが手を挙げ、主体的にボランティア受け入れと情報発信に取り組んだ3地区の実践事例を紹介します。単なる人手確保にとどまらず、交流を通じて生まれた変化や、今後につなげたい地域の展望を、現場の声とともに共有します。これからの農村と関係人口の可能性を考える成果発表会です。

いなかと♡
いいなか



郡山市中田町 下枝第二集落

花の苗植えのお手伝い

地域の景観を守るため、遊休農地に花を植える活動を住民主体で続けてきた下枝地区。郡山市「花いっぱいコンクール」では最優秀賞を何度も受賞するなど、長年評価されてきました。一方で高齢化が進み、これまでと同じ規模での植栽が難しくなり、活動を「続けるため」にボランティア受け入れを開始。SNS発信をきっかけに、継続的な関係づくりへと発展しています。



昭和村松山地区

そば畑の草刈り・電気柵設置のお手伝い

遊休農地を活用し、地域でそば栽培に取り組む松山地区。高齢化と人口減少により、普請や農作業の人手不足が深刻な課題でした。今年度、初めて外部ボランティアを受け入れ、若者世代とともに草刈り作業を実施。地域内の若手も前向きに関わり始め、今後の地域づくりに向けた土台が生まれました。



猪苗代町 白津地区

落花生のさや取り作業のお手伝い

二拠点居住者が地域と外部をつなぐ「架け橋」となり始めた白津地区。自分たちを温かく迎えてくれた地域への恩返しとして、遊休農地を活用した落花生栽培とボランティア受け入れを実施しました。移住者・関係人口が地域活動の担い手となり、地域を巻き込みながら新たな関係づくりに挑戦した事例です。



2026年

2/18(水)

14:00~16:00

会場

「Salon de Tigre」

〒963-8014

福島県郡山市虎丸町5-10 2階

ハイブリッド開催

会場 + オンライン
(Zoomウェビナー)

当日のプログラム

第一部 事例発表 (14:00~15:10)

- 本事業の概要説明
- 農村ボランティア3地区の事例発表
下枝第二集落(郡山市)、松山地区(昭和村)、白津地区(猪苗代町)

第二部 ディスカッション (15:10~16:00)

- テーマ:「地域はどう変わったか/これからどう広げるか」
- 3地区によるクロストーク ●質疑応答

ファシリテーター

鈴木亜紀子さん



福島市出身在住のフリーアナウンサー。福島が好きでUターン移住し、MCやファシリテーター、全国の社員インタビューに携わっている。果物好きで果樹園の農作業を手伝うことも。休日は温泉や食を楽しみながら、ふくしま暮らしを満喫中。

現地 &
オンライン
同時開催

参加
無料

お申込み方法

FAXまたはQRコードからお申込みいただけます。

FAXからのお申込みは下欄にご記入の上、「FAX:024-983-1310」までお送りください。

氏名		所属	
メールアドレス			
TEL		参加方法	現地参加 ・ オンライン参加

QRコードからの
お申込みはコチラ



※申込が会場の定員に達した場合、オンライン視聴をお願いすることがありますのでご了承ください。また、駐車台数に限りがありますので、乗り合わせ等による来場をお願いします。

「いなかといいなか」むらのボランティア・マッチング支援業務運営事務局(株式会社クノウ)

TEL:024-983-8955

FAX:024-983-1310

E-mail:info@kunou.co.jp

「いなかといいなか」農村関係人口創出事業 事業主体:福島県農林水産部 農村振興課